

# YUASA LEDシーリングライト保証書

形名 YLC-L480

持込修理

保証期間(本体)	お買上げ日より1年間		
※お買上げ日	平成 年 月 日		
※お客様	ご住所	〒□□□-□□□□	
	ご芳名	様	
※販売店	住所		
	店名	TEL.	(印)

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げ日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買求め販売店に修理をご依頼ください。

## ＜無料修理規定＞

- 取扱説明書や注意ラベルに従った正常な使用状況下で故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
  - 保証期間内の無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店に依頼してください。
  - ご転居の場合は事前に販売店にご相談ください。
  - ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買上げ販売店にご依頼できない場合には、ユアサブプライムス株式会社にお問合わせください。
  - 保証期間内であっても次の場合には有料修理になります。
    - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - (ロ)お買上げ後の移動にともなう落下などによる故障及び損傷。
    - (ハ)火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害や異常電圧による故障及び損傷。
    - (ニ)本書の提示がない場合。
- (ホ)本書のお買上げ日、お客様名、販売店名などの記入のない場合や字句を書き変えられた場合。  
 (ヘ)一般家庭用以外(例えば、業務用の長期間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。  
 (ト)消耗品を交換する場合。  
 (チ)故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。  
 6.本書は日本国内においてのみ有効です。  
 This warranty is valid only in Japan.
- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げ販売店または、ユアサブプライムス株式会社にお問合わせください。  
 ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については詳しくは取扱説明書をご覧ください。

## お願い

一度ご使用になった製品は、返品をお受けすることができませんのであらかじめご了承ください。ただし、明らかに不備、不良と認められた製品につきましては、代替品と交換する準備がございます。また、保証期間終了後、使用間違いの故障(本体の水洗いなど)などの修理は、できる限りお客様の負担の少ないように(部品代、送料など)お見積りをご連絡し、了解を頂いた後に速やかに修理をさせていただきます。

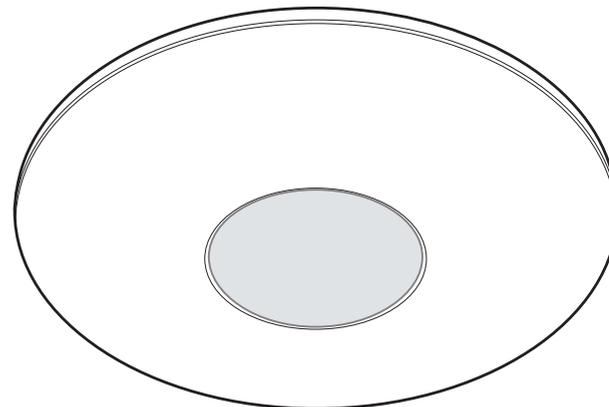
修理実施日	修理内容	担当者

修理・お取り扱い・お手入れについて、ご不明な点は  
お買上げの販売店へご相談ください。  
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

ユアサブプライムス株式会社	・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町16番1号 ユアサ商事(株)別館	・利用目的の範囲内で、当該商品に関連する弊社グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。
一般ユーザー様お問い合わせ窓口	
0120-988-475 (フリーコール) 平日 10:00~12:00 13:00~17:00	
東部サービスセンター	048-920-3750
西部サービスセンター	072-225-5385

# YUASA

## LEDシーリングライト取扱説明書 YLC-L480



## 目次

安全上のご注意	2
各部の名称	3
器具の取り付け方	4~5
器具の取り外し方	6~7
壁スイッチによる点灯	7
リモコン送信器	8
リモコンホルダーのご使用方法	9
明るさの調節(調光)	9
リモコンご使用上の注意	10
故障と思われるがちな症状	10
故障かな?と思ったら	10
仕様・諸元	10
外形寸法	11

## お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この商品を、安全に正しくお使いいただけますようこの取扱説明書をよくお読みください。
- 取扱説明書は必ず保管してください。

## 工事店様へ

- 取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございました。お使いになる方やその他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただく為に、この取扱説明書をよくお読みください。

## ■ 安全上のご注意

商品及び取扱説明書には、お使いになる方やその他の方への損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただく為に、重要な内容を記載しています。

- 照明器具について**
- 引掛シーリングボディが天井に設置されていれば、そのまま取り付けできる器具です。
  - 天井に引掛シーリングボディが設置されていない場合は電気工事店に取り付けを依頼してください。
  - 配線器具等の工事に関しては、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

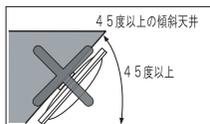
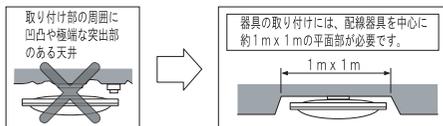
**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 警告

● 次のような場所には取り付けしないでください。

※ 器具は天井取り付け専用です。

指定以外の場所には器具が取り付けられない場合や、取り付けした場合でも火災・感電・落下による怪我の原因となります。



● 次のような配線器具（引掛シーリング）には取り付けしないでください。

火災・感電・落下による怪我の原因になります。次のような場合は、配線器具の交換を工事店・電気店にご依頼ください。配線器具等の工事に関しては、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。



配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けしてください。

- 器具を分解・改造したり、部品を変更しないでください。 **改造** 火災・感電・落下による怪我の原因となります。
- 他の調光器具による調光使用はできません。 **調光器** 火災・感電・落下による怪我の原因となります。
- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。 **可燃物** 火災・感電・落下による怪我の原因となります。

### 注意

● 屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。 **湿気 禁止** この器具は非防水です。火災・感電の原因となります。

● 点灯中及び消灯直後は、器具に接触しないでください。 **接触 禁止** 高温になっています。やけどの原因となります。

● 温度の高い場所では使用しないでください。 **高温 禁止** 暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は5℃～35℃の環境温度で使用するように設計されています。

● 交流100V（±6V）以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

● 天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

● 安全上、LED光源を直視しないでください。目の痛みの原因となります。

● LED光源は、器具組込みの為、交換できません。

● LED光源は、バラツキがある為、同一形名商品でも、商品ごとに発光色・明るさが異なる場合がありますので御了承ください。

● 照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますが御了承ください。

● 照明器具には寿命があります。8～10年経つと、外観に異常が無くても内部の劣化が進んでいる場合があります。点検・交換をお勧めします。  
※環境温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)

● 環境温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

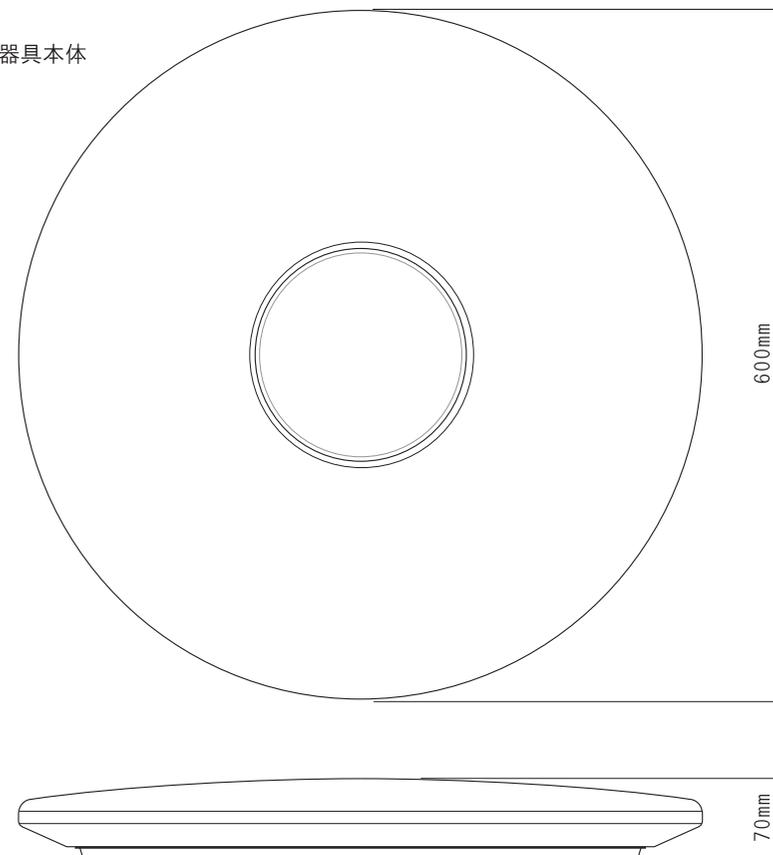
● 1年に1回は自主点検、及び3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。

● 点検せずに長時間ご使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

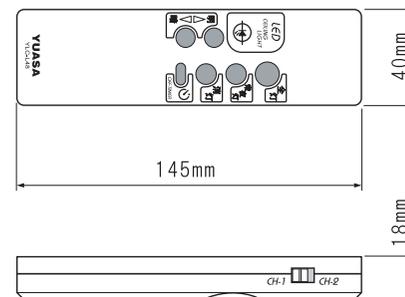
● 点検・清掃等を行う際には、必ず電源を切ってから行ってください。

## 外形寸法

### ● 器具本体



### ● リモコン送信器



## リモコンご使用上の注意

- 当社製LED照明器具専用です。他社製の照明器具やテレビ等にはご使用になれません。
- 照明器具の壁スイッチがONの時のみ使用できます。
- リモコンで消灯した場合、マイコンの特機電力として約0.3Wの電力を消費します。長時間ご使用にならないときは、壁スイッチを切ってください。
- 落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 照明器具本体の周囲やリモコンと照明器具本体の間に遮へい物がある場合は、動作しない場合があります。その場合は、遮へい物を避けて、再操作してください。
- 天井・壁・床の色や材質によって、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。（最大6m）
- リモコン送信器の送信部が汚れていると動作・反応しにくくなりますので、乾いた布でふいてください。
- 電池が消耗してくると動作しにくくなります。その際は、新しい電池と交換してください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 点灯直後、全光時・調光時にリモコン操作での切り替えが鈍くなる場合があります。その際は、点灯後10秒ほど経過してから再度操作してください。
- 1台のリモコン送信器は設定されたチャンネルに合わせた信号しか送信できません。2台の照明器具を1台のリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルをその都度合わせて捜査してください。
- インバータ照明器具の取り付けられている部屋でご使用の場合は、インバータ照明器具から1.5m以上離して取り付けください。

## 故障と思われる症状

- 冬期など、環境温度が低いとき、全光状態になるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 照明器具の壁スイッチがONの時のみ使用できます。
- 点灯中や消灯直後、温度変化によるプラスチックの伸縮がおこり“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音することがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されると、雑音が入る場合があります。その場合、照明器具とラジオ・テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安はご使用の環境により異なりますが、約8年～10年です。

## ■ 故障かな？と思ったら

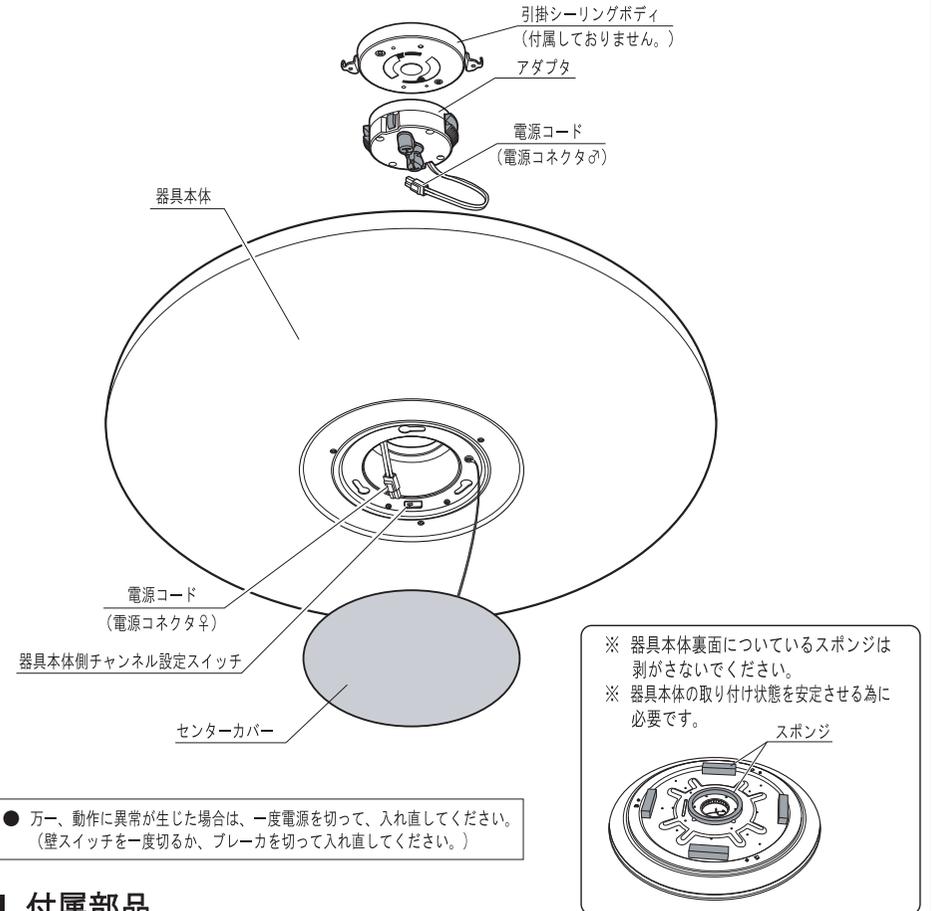
現象（症状）	考えられる要因（原因）	処置（対処）
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコン送信器の電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	リモコン送信器の電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。

## ■ 仕様・諸元

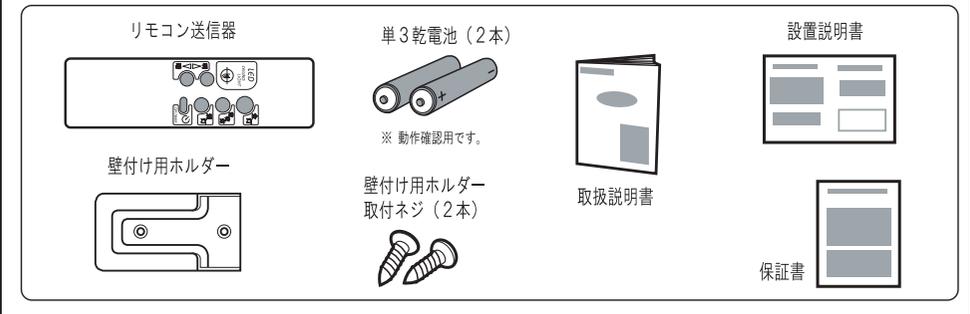
機種名	定格電源電圧	定格周波数	消費電力	待機電力	器具全光束	調光段階	器具質量(梱包共)
YLC-L480	AC100V	50/60Hz 共用	48W	0.3W	3800lm	12段階	2.1kg(3.6kg)

## 各部の名称

### YUASA LEDシーリングライト YLC-L480



## ■ 付属部品

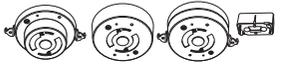


## 器具の取り付け方

安全の為、必ず電源を切ってから行ってください。

### 1. 天井に設置されているシーリングボディの形状を確認してください。

天井に下図のような引掛シーリングボディがついている場合、取り付けができます。

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに適合できます。	
天井からの出しが22mmの引掛シーリングボディの場合	天井からの出しが11mmの引掛シーリングボディの場合
角型・丸型引掛シーリングボディ	埋込型引掛シーリングボディ
	
天井からの出しが22mmの引掛シーリングボディの場合 天井 2段目のツメ アダプタ	天井からの出しが11mmの引掛シーリングボディの場合 天井 1段目のツメ アダプタ
器具本体がガタガタしたり、簡単に回転する場合は、正しく取り付けられていない可能性があります。再度、器具の取り付けを行ってください。	

**警告** 落下・感電・火災の恐れがあります。

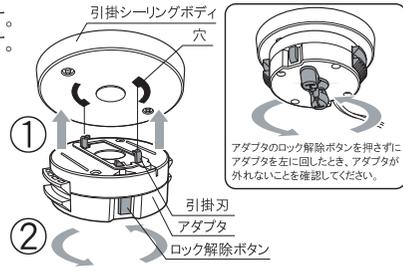
- 器具本体は確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合、落下して怪我の原因となります。
- 電源コネクタを差し込んだ後は、器具本体を回さないでください。器具本体を回すと電源コネクタが破損・断線し感電・火災の原因となります。

**ご注意** 天井に右図のような引掛シーリングボディがついている場合、取り付けができます。右図以外の引掛シーリングボディの場合、また引掛シーリングボディが設置されていない場合は取り付けできません。販売店(工務店)にご相談ください。

### 2. 天井の引掛シーリングボディにアダプタを取り付けてください。

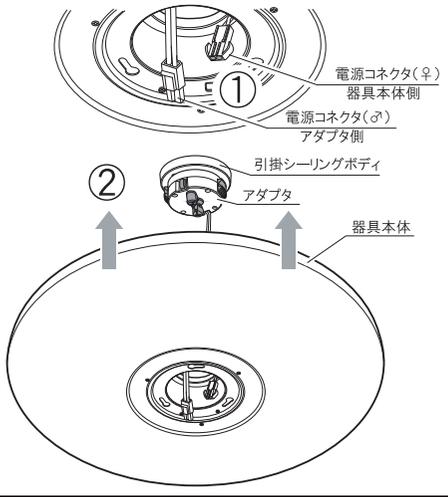
- 引掛シーリングボディの穴にアダプタの引掛刃を挿入します。
- “カチッ”と音がするまで時計方向(下方から見て)に回します。

※アダプタは必ず専用(同梱)のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると破損する場合があります。



### 3. 器具本体の取り付け

- 電源コネクタを器具本体中央の穴に通してください。
- “カチッ”と音がするまで器具本体を押し上げます。
- 器具本体を取り付け、左右のツメが均等に掛かっていることを確認したら、アダプタのハンドルをロックの位置にして、ツメを固定してください。

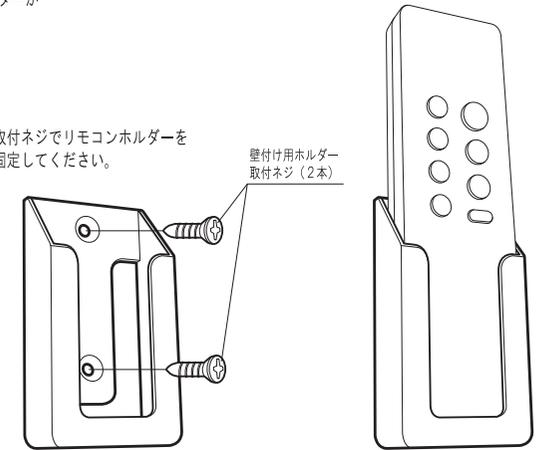


**注意** 器具本体を取り付けるときは、必ず両手で支えるように行ってください。器具の落下や破損の恐れがあります。

## リモコンホルダーのご使用方法

- リモコン送信器の紛失を防止する為、リモコンホルダーが同梱されています。壁面にに取り付けてご使用ください。

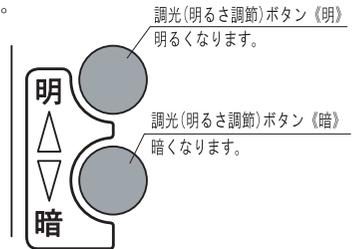
※ 付属の取付ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。



**ご注意** リモコンを操作する際は、リモコンホルダーからリモコン送信器を外して、照明器具に向けてご使用ください。

## 明るさの調節(調光)

- 点灯している状態で《調光調節ボタン》明 ▼ 暗》を押します。
  - ・ 1回押すと、1ステップずつ明るさが変わります。
  - ・ 明るさは12段階に調節できます。

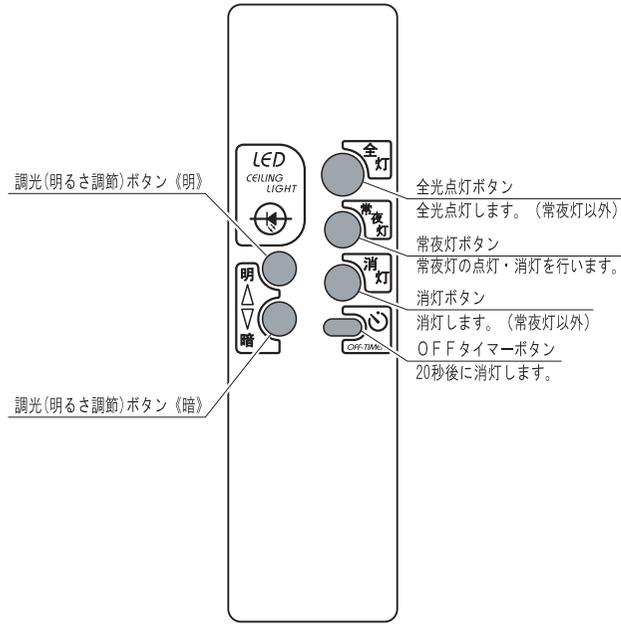


**ご注意** 常夜灯は調光(明るさの調節)はできません。

# リモコン送信器

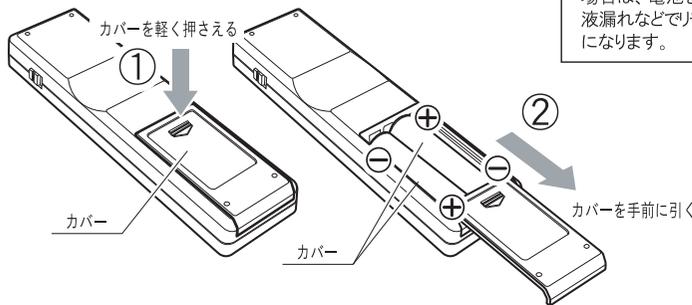
このリモコン送信器はこの照明器具専用です。  
他の機器にはご使用できません。

## 1. 各部の名称



## 2. リモコンへの電池の入れ方

- ① リモコン裏面のカバーを軽く押さえながら、手前に引いてください。
- ② 単三電池を表示に合わせて、極性を間違えないように入れ、カバーを閉めてください。



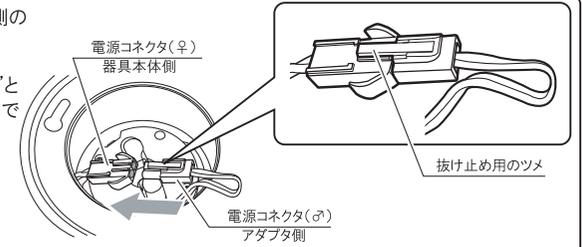
### ご注意

- ・乾電池交換の際には、必ず同時に2本とも新しいものに交換してください。新旧の電池を混ぜて使用すると、動作不良の原因になります。
- ・長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液漏れなどでリモコン送信器を破損する原因になります。

## 4. 電源コネクタの接続

アダプタ側の電源コネクタ(♂)を器具本体側の電源コネクタ(♀)に接続します。

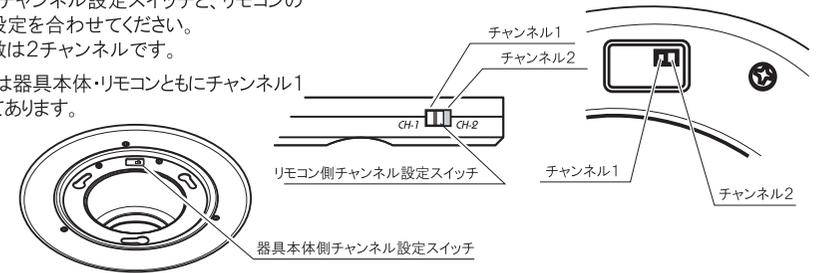
※電源コネクタの抜け止め用のツメが“カチッ”と音がしてかみ合うまで、しっかりと押し込んでください。



## 5. リモコンのチャンネル設定

器具本体のチャンネル設定スイッチと、リモコンのチャンネル設定を合わせてください。  
チャンネル数は2チャンネルです。

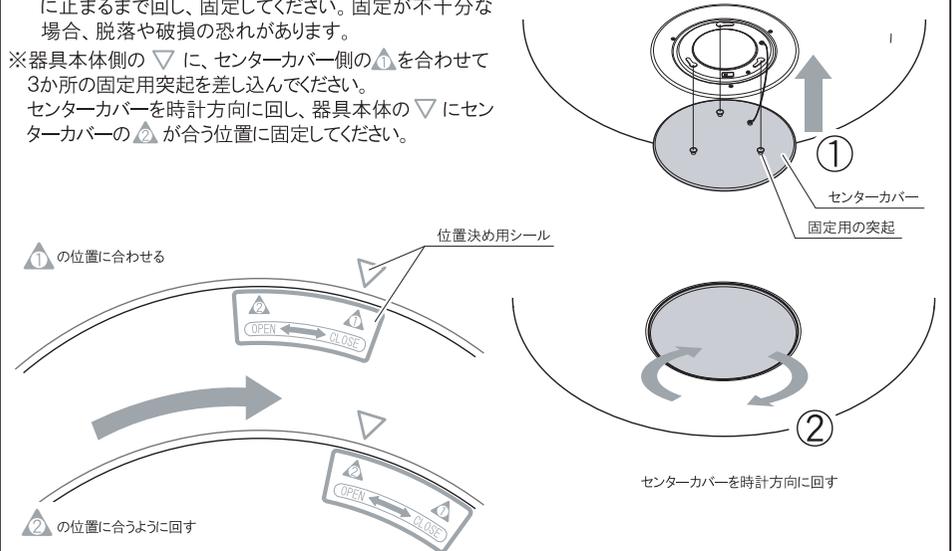
※出荷時には器具本体・リモコンともにチャンネル1に設定してあります。



## 6. センターカバーの取り付け

- ① センターカバーの突起を器具本体の穴に合わせて差し込みます。このとき、センターカバー表側の位置決め用シールの指示に従い、差し込む位置を合わせてください。
- ② センターカバーをシールの指示に従って時計方向(右)に止まるまで回し、固定してください。固定が不十分な場合、脱落や破損の恐れがあります。

※器具本体側の▽に、センターカバー側の▲を合わせて3か所の固定用突起を差し込んでください。  
センターカバーを時計方向に回し、器具本体の▽にセンターカバーの▲が合う位置に固定してください。



## 器具の取り外し方

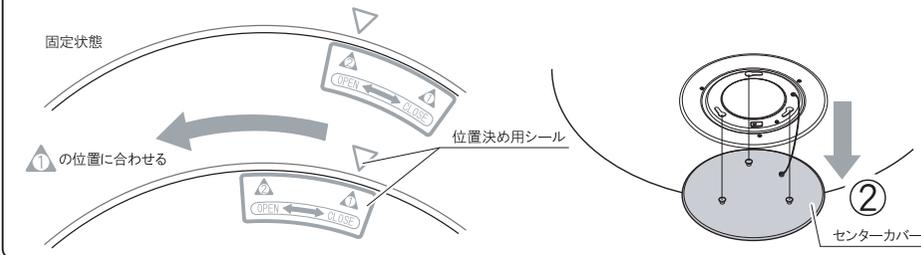
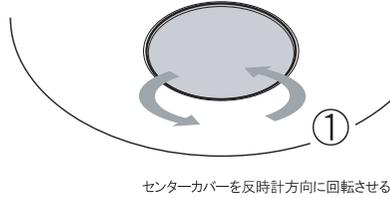
### 1. センターカバーの取り外し

① センターカバーを反時計方向(左)に回します。

※センターカバーを取り外すときは、必ず両手を添えて行ってください。取り外し可能な位置では、センターカバーが落下する恐れがあります。

② センターカバーを下方に外してください。

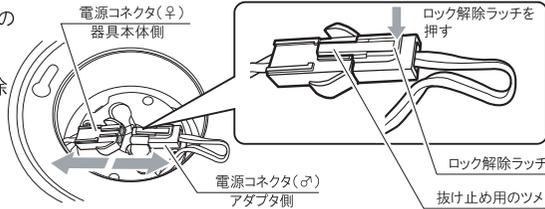
※センターカバーを反時計方向に回し、器具本体の▽にセンターカバーの▲が合う位置にして取り外してください。



### 2. 電源コネクタの取り外し

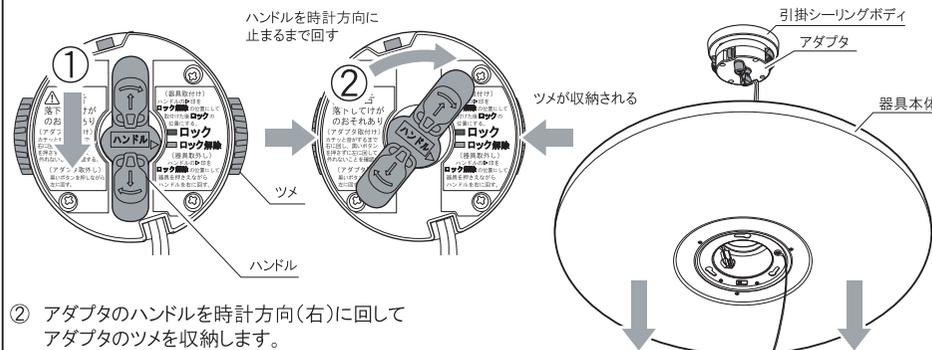
アダプタ側の電源コネクタ(♂)を器具本体側の電源コネクタ(♀)から外します。

※電源コネクタの抜け止め用のツメのロック解除ラッチを押さえながら引き抜いてください。



### 3. 器具本体の取り外し

① アダプタのハンドルをロック解除の位置にします。



② アダプタのハンドルを時計方向(右)に回してアダプタのツメを収納します。

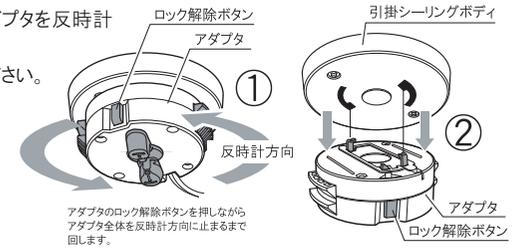
③ ②の状態のまま、器具本体を下方に引き抜いてください。このとき、器具本体が自重で落下する場合がありますので、必ず片手を添えて行ってください。

**注意**  
器具本体を取り外すときは、必ず片手で支えるように行ってください。器具の落下や破損の恐れがあります。

### 4. アダプタの取り外し

① アダプタのロック解除ボタンを押しながら、アダプタを反時計方向に止まるまで回します。

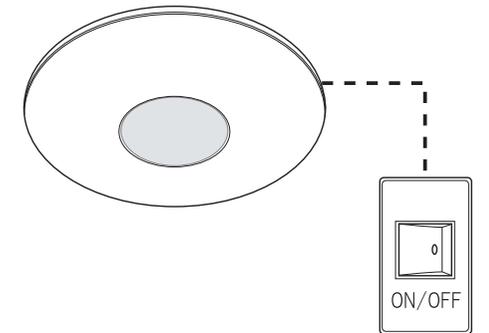
② アダプタをシーリングボディから引き抜いてください。



## 壁スイッチによる点灯

この照明器具はリモコンを使用しない場合、壁スイッチで点灯・消灯を行うことができます。

- ① 壁スイッチONで点灯
- ② 壁スイッチOFFで消灯



## MEMO

# 設置説明書

- 安全のため、電源を切った状態で行ってください。
- 取扱説明書も良くお読みください。
- 器具の取り付けかた

## 1. 天井に設置されているシーリングボディの形状を確認してください。

天井に右図のような引掛シーリングボディがついている場合、取り付けができます。

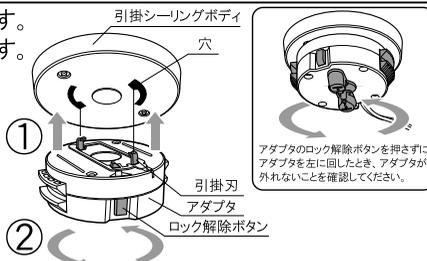
右図以外の引掛シーリングボディの場合、また引掛シーリングボディが設置されていない場合は取り付けできません。

販売店(工事店)にご相談ください。

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに適合できます。	
天井からの出し高が22mmの引掛シーリングボディの場合	天井からの出し高が11mmの引掛シーリングボディの場合
角型・丸型引掛シーリングボディ	埋込型引掛シーリングボディ

## 2. シーリングボディにアダプタを取り付けてください。

- ① 引掛シーリングボディの穴にアダプタの引掛刃を挿入します。
- ② “カチッ”と音がするまで時計方向(下方から見て)に回します。  
※アダプタは必ず専用(同梱)のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると破損する場合があります。

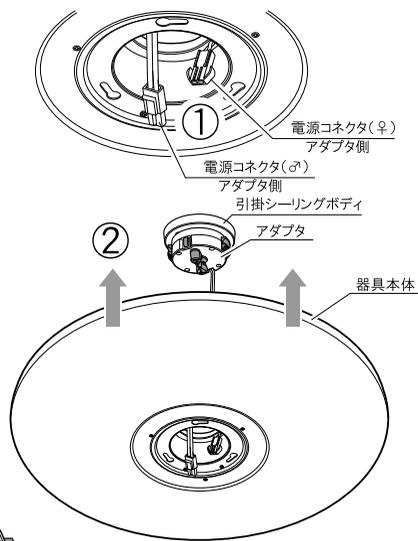
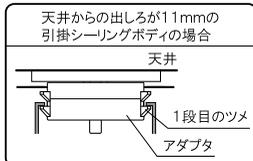
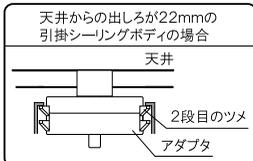


### ⚠ 注意

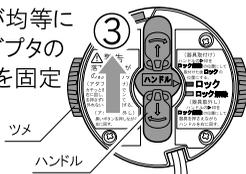
アダプタのロック解除ボタン(側面の黒いボタン)を押さずにアダプタを左に回したとき、アダプタが外れないことを確認してください。アダプタの取り付けが不十分な場合、落下や破損の恐れがあります。

## 3. 器具本体の取り付け

- ① 電源コネクタを器具本体中央の穴に通してください。
- ② “カチッ”と音がするまで器具本体を押し上げます。  
※天井からの出し高が22mmの引掛シーリングボディを使用している場合は2段目のツメまで押し上げてください。  
※天井からの出し高が11mmの引掛シーリングボディを使用している場合は1段目のツメまで押し上げてください。



- ③ 器具本体を取り付け、左右のツメが均等に掛かっていることを確認したら、アダプタのハンドルをロックの位置にして、ツメを固定してください。



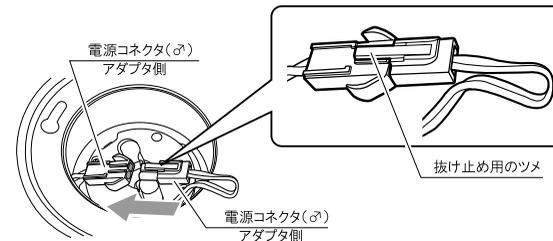
### ⚠ 注意

器具本体を取り付けるときは、必ず両手で支えるように行ってください。器具の落下や破損の恐れがあります。

## 4. 電源コネクタを接続します。

アダプタ側の電源コネクタ(♂)を器具本体側の電源コネクタ(♀)に接続します。

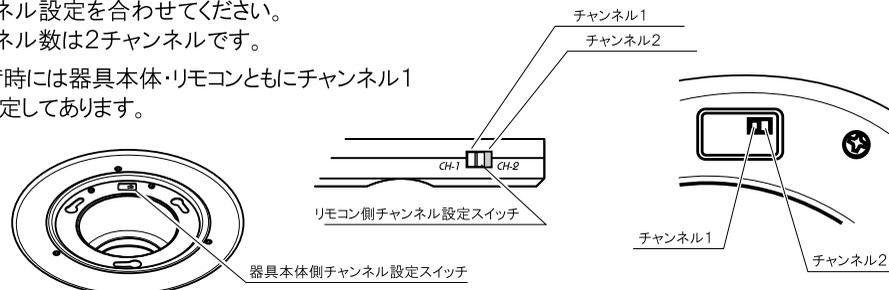
※電源コネクタの抜け止め用のツメが“カチッ”と音がしてかみ合うまで、しっかりと押し込んでください。



## 5. リモコンのチャンネルを設定します。

器具本体のチャンネル設定スイッチと、リモコンのチャンネル設定を合わせてください。チャンネル数は2チャンネルです。

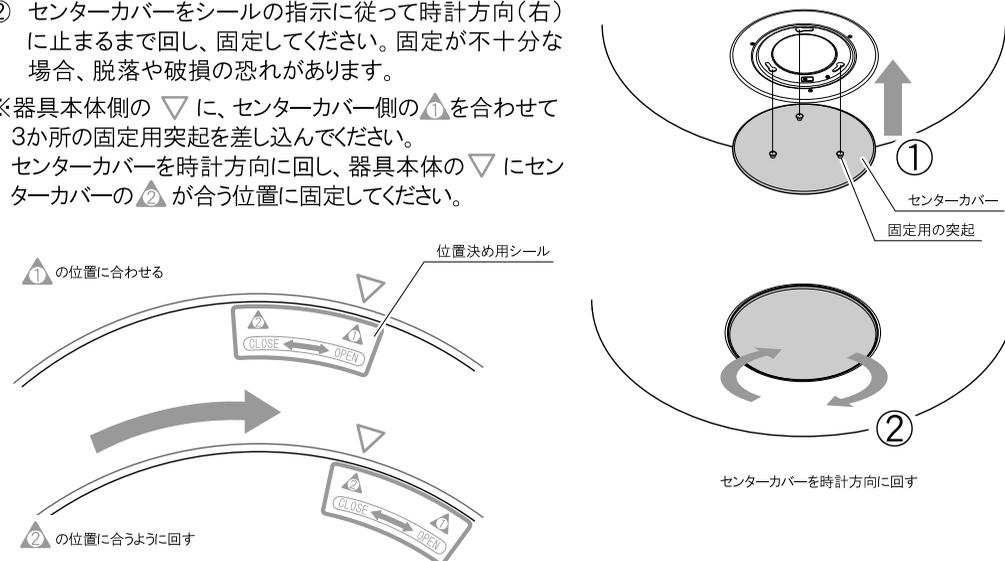
※出荷時には器具本体・リモコンともにチャンネル1に設定してあります。



## 6. センターカバーを取り付けます。

- ① センターカバーの突起を器具本体の穴に合わせて差し込みます。このとき、センターカバー表側の位置決め用シールの指示に従い、差し込む位置を合わせてください。
- ② センターカバーをシールの指示に従って時計方向(右)に止まるまで回し、固定してください。固定が不十分な場合、脱落や破損の恐れがあります。

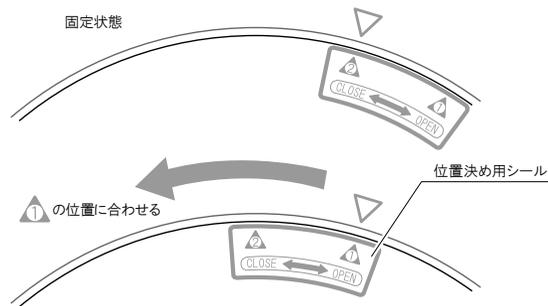
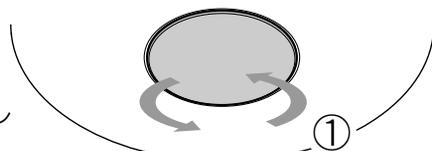
※器具本体側の▽に、センターカバー側の▲を合わせて3か所の固定用突起を差し込んでください。センターカバーを時計方向に回し、器具本体の▽にセンターカバーの▲が合う位置に固定してください。



## ■ 器具の取り外しかた

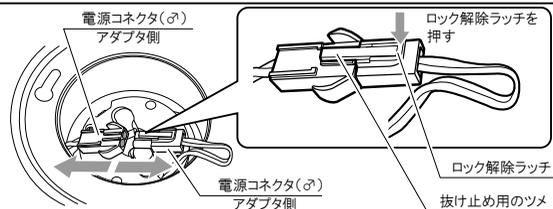
### 1. センターカバーを取り外します。

- ① センターカバーを反時計方向(左)に回します。  
※センターカバーを取り外すときは、必ず両手を添えて行ってください。取り外し可能な位置では、センターカバーが落下する恐れがあります。
- ② センターカバーを下方に外してください。  
※センターカバーを反時計方向に回し、器具本体の▽にセンターカバーの▲が合う位置にして取り外してください。



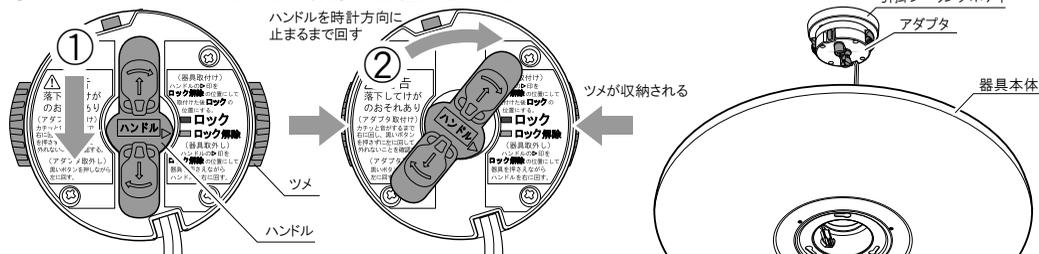
### 2. 電源コネクタを外します。

- アダプタ側の電源コネクタ(♂)を器具本体側の電源コネクタ(♀)から外します。  
※電源コネクタの抜け止め用のツメのロック解除ラッチを押さえながら引き抜いてください。



### 3. 器具本体を取り外します。

- ① アダプタのハンドルをロック解除の位置にします。

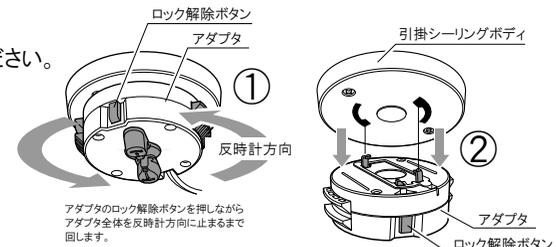


- ② アダプタのハンドルを時計方向(右)に回してアダプタのツメを収納します。
- ③ ②の状態のまま、器具本体を下方に引き抜いてください。このとき、器具本体が自重で落下する場合がありますので、必ず片手を添えて行ってください。

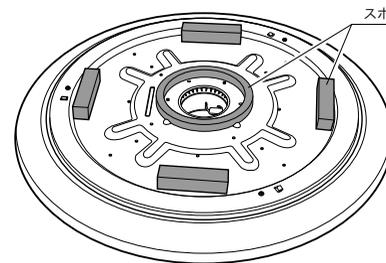
**⚠ 注意**  
器具本体を取り外すときは、必ず片手で支えるように行ってください。器具の落下や破損の恐れがあります。

### 4. シーリングボディからアダプタを取り外してください。

- ① アダプタのロック解除ボタンを押しながら、アダプタを反時計方向に止まるまで回します。
- ② アダプタをシーリングボディから引き抜いてください。



### ⚠ 注意



※器具本体の上面に設置されているスポンジは、器具本体を天井面に安定して固定する為に必要です。絶対にはがさないでください。

## MEMO